

長野県で、福島産の魚を食べて応援し、理解を深めようという催しに参加した。

「福島産の魚を食べる会」、開催!

去る9月29日、長野県上田市にある社会福祉法人「まるこ福祉会」が「福島産の魚を食べる会」を開催。福島を応援しようと、1都9県から135人が集まった。(文・中村光宏)



上は当日のメニュー。参加者からは、美味しかった。長野県産の魚を名指しで買える場所がない。スーパーや直売所で福島産のメニューがあればいいのでは、などの声も聞かれた。

12年もの福島復興支援
長野県上田市に拠点を構える社会福祉法人「まるこ福祉会」は、東日本大震災から12年間、福島の復興支援活動が続いている。平成23年3月11日の震災発生直後に、福島県いわき市に食料や日用品を届けて以来、有形無形の支援を継続。毎年、上田市に招待して長野の大自然の中でんびりと遊んだ福島の子供たちは延べ150人にもなり、同会による南相馬市の海苔商店の商品をはじめとする福島産品の販売も相当な金額に上るといふ。

心になせの花を咲かせることを永遠に目指しています。だから、福島を支援するのは当たり前でした(柳澤正敏理事長)
錚々たる顔ぶれが参集
そんなまるこ福祉会が、今回企画したのが「福島産の魚を食べる会」だ。ようやく沈静化してきた福島産の魚介類への風評被害が、東京電力福島第一原発による原発処理水放出のニュースを受けて再発。中国などによる輸入禁止措置に発展してしまったことにより被害を受ける漁業関係者を支援するのが目的だ。参集した135人の顔ぶれは多士済々。上田市長など地域行政のトップから長野県にネットワークを持つスーパーや直売所の経営者、食品流通の関係者や旅館・ホテルの経営者、さらに地域住民の代表などが顔を揃えた。

の刺身、柳カレイの焼き魚、メヒカリの唐揚げ、あら汁、そして特産のホッキ貝を使ったいわきの伝統食「ほっき飯」など。参加した135人はいわき市中央卸売市場・いわき魚類株式会社の手によりいわき漁港から直送され

社会福祉法人 まるこ福祉会
住所: 〒386-0407
長野県上田市長瀬2885-13
TEL: 0268-171-6263
FAX: 0268-171-6261

た新鮮な海の幸に舌鼓を打った。
「3・11以降、私は素晴らしい仲間、素晴らしい職員、素晴らしいボランティアに恵まれて、福島への支援が続けられてきました。そして今、その支援が一番必要なのは間違いなく福島産の魚。今回も、いわき魚類さんはじめ素晴らしい仲間たちのおかげでこの日を迎えることができました。福島産の魚、美味しいですよね?是非皆さんにも食べていただきたい。私も、再びこのような催しを開催できるよう頑張ります」と柳澤理事長海なし県産品の支援の輪が広がっていくことを期待せずにはられない。



本誌でもお馴染みのNPO法人士と人の健康づくり隊の伊藤勝理理事長も挨拶。奥に立つ左の人物が、主催したまるこ福祉会の柳澤理事長。

産直コペル

sanchoku coper



総力大特集
直売サミットで見えてきた、食と直売の課題と未来

第20回 全国農林水産物直売サミット詳報

直売所オピニオン座談会
研究者・自治体首長・中山間地の実践者が大いに語る!

明治大学 農学部生からひと言

連載 店長・スタッフ必読! 直売所読本 / 新・農業経済 / 農業と暮らしの経営学 etc...

2024.1 Vol.63